

別添 7

令和3年度精神科アドボケイト（個別相談）養成研修（基礎）							
							運営側入室9:00～、参加者入室9:15
開始	終了	項目時間	合計時間	科目名	担当（名前と所属）	内容	補足
9:30	9:40	0:10	0:10	事務連絡			
9:40	10:15	0:35	0:45	オリエンテーション	藤井（NCNP） 位田 （大阪精神医療人権C）	1. 開始・録画の断り 2. 研修の趣旨説明 10分 3. グラウンドルール 4. 自己紹介 25分	自己紹介(30秒 x 45人) = 約25分
10:15	10:25	0:10	0:55	休憩			
10:25	10:50	0:25	1:20	講座1（講義）： アドボカシーとは	彼谷 （大阪精神医療人権C）		
10:50	11:20	0:30	1:50	演習1	彼谷 （大阪精神医療人権C）	1. 自己紹介 研修に参加しようと思った動機、きっかけ 2. これからアドボカシー活動をするとしたら、どのような点を意識したいですか？ アドボカシーの6原則も参考にしてください。 ※独立性／エンパワメント／当事者主導／守秘（秘密を守る）／平等／当事者参画	1. 自己紹介 12分（2分 x 6人進行役含む） 名前と研修に参加しようと思った動機、きっかけ記録係について（〇〇さんに記録係に入ってもらっています。この講座を振り返るために、演習でどのような意見が出たかを記録するためです。お名前が公開することはありませんので安心して話してください。） →全員の自己紹介が終わったら、ファシリは「様々な立場の人がいること」「立場性の尊重」を確認する ※グラウンドルール 2. アドボカシー活動で意識したいこと 10分（2分 x 5人） 補足説明：講義で印象に残ったことはどんなこと、どの部分でしたか？ 3. 他の人の意見を聞いての感想 5分（1分 x 5人） 補足説明：他の人の意見をきいて思ったこと気付いたこと ※初めての演習であることから場を温めること、相手の立場を尊重することを重視。
11:20	11:30	0:10	2:00	休憩			
11:30	11:55	0:25	2:25	講座2（講義）： 人権について	桐原 （全国精神病患者集団）		
11:55	12:25	0:30	2:55	演習2	角野 （大阪精神医療人権C）	講義を受けて、①と②いずれか（両方でも可）について自身の個人的や職業的な経験をふりかえり、グループ内で共有してください。精神科医療に限定しなくてもかまいません。 ①人権を尊重したかった場面、エピソード ②人権を尊重してほしかった場面、エピソード	角野さんから具体例を入れて演習の説明 1. 個人ワーク（2の前に個人で考えてもらう時間をとる）3分 2. グループ内で①か②を共有 10分（2分 x 5人） 補足説明：権利を守られなかった、人として大切にされていないと感じた場面はありますか？（「人権」を自分ごと・身近なところに引き寄せて考えてもらう。） 3. 他の人の意見を聞いての感想 10分（2分 x 5人） ※人権は精神科医療に限定しない普遍的な概念であることを意識することで、人権が立場性の違いを超えた研修の場作りに留意する。
12:25	13:25	1:00	3:55	休憩		昼休み	13:00～ブレイクアウトセッションで運営スタッフ打ち合わせ
13:25	13:55	0:30	4:25	講座3（講義）： 入院している人の生活と環境	奥山 （大阪精神医療センター） ----- たにぐち （大阪精神医療人権C）		
13:55	14:15	0:20	4:45	演習3	角野 （大阪精神医療人権C）	講義と体験談を聞いての感想をグループ内で共有してください。	1. 個人ワーク 3分 2. グループ内で意見を共有 10分（2分 x 5人） 3. 他の人の意見を聞いての感想 5分（1分 x 5人） ※講座概要（ファシリ用メモ）：看護師として権利擁護も担っている、担おうとしているが、それでも入院中の方にとっては権利が守られていない場面もある、だから精神科アドボケイト「も」必要（もちろん精神科アドボケイトだけで全ては担えない）。
14:15	14:25	0:10	4:55	休憩			

14:25	14:55	0:30	5:25	講座4-1（講義）： 精神保健と人権	藤井 （NCNP）		
14:55	15:05	0:10	5:35	休憩			
15:05	15:35	0:30	6:05	講座4-2（講義）： 精神保健の制度と現 状	西川 （大阪精神医 療人権C）		
15:35	16:10	0:35	6:40	演習4	西川 （大阪精神医 療人権C）	講義において、精神保健福祉法における入院形態、行動制限や権利について学びました。入院している人の守られるべき権利について、あなた自身はどのように思いましたか。	1.個人ワーク 3分 2.意見共有 30分（6分×5名）1巡のみ 出た意見を深掘りする参加者同士のやりとり（2巡目）はしない。時間をみてファシリが発言者に対してその意見の理由、どうしてそう考えたのかをきく。参加者には他の人の意見を聞いてもらう。
16:10	16:20	0:10	6:50	休憩			
16:20	16:50	0:30	7:20	講座5（講義）： 精神科アドボケイト とは	藤原 （大阪精神医 療人権C）		
16:50	17:15	0:25	7:45	演習5	藤原 （大阪精神医 療人権C）	大阪の実践を聞いて、あなたができることは何ですか？ 「精神科アドボケイト」をする 「精神科アドボケイト」はしないが、側面的にできそうなこと 他の領域のアドボケイトをする	1.個人ワーク 3分 2.意見共有 20分（4分×5名）1巡のみ 補足説明：（講座全体・講座5を受けて、）精神科アドボケイトなら、側面的なことなら、他領域ならとそれぞれのうちのようなことがしたい・できそうと思うかを話してもらおう。（講座を受けて今どう考えているか、決意表明のイメージ）
17:15	17:25	0:10	7:55	事務連絡	藤井 （NCNP）	演習5を踏まえて全体の締めくくりアンケートのお願い・実践編のアナウンス）	
		研修 時間	5:35				